

みさと

田んぼの中は きもちいいよ～♪



主な記事

- 雨のシーズン到来
学びや気づきで備える防災……②～③
準備はお済みですか？
地上デジタル放送……④～⑤
- まちかどウォッチング……⑥～⑦
- お知らせ……⑧～⑪
- 集落支援員だより（上野地域）……⑫
- これならできる獣害対策……⑬
- 地域おこし協力隊通信（沢谷地域）……⑭
- 文芸コーナー（清流句会）……⑭
- 慶弔／7月行事予定……⑯

今日の顔 おいしいおもち たべたいな

乙原保育園児が5月25日（水）、近くの水田で田植えに挑戦しました。

水田にハダシで入った子どもたちは、カエルやオタマジャクシを見つけては大喜び。

地域住民や保護者から手ほどきを受けながら、横一列に並んで丁寧にモチ米品種の苗を植えました。秋には園児たちが収穫し、モチにして食べる予定です。

雨のシーズン到来 学びや気づきで備える**防災**

本格的な雨のシーズンを迎えました。今から5年前、平成18年7月には中国地方や九州南部などで集中豪雨が発生。美郷町内でも都賀行観測所で最大時間雨量46^{ミリ}を記録するなど昭和58年7月豪雨水害を超える大雨になり、多大な被害が発生しました。年々、堤防や砂防ダムなど施設面の整備が進む中、地域住民が、「学び」や「気づき」をとおして地域の防災力を高める取り組みが進んでいます。

増水した江の川
(平成18年7月19日午前7時頃)

豪雨に備え防災訓練

5地区で534人が参加

本格的な雨の季節を前に、災害発生時の避難経路などを住民が確認する防災訓練が5月29日(日)に行われました。

訓練は土砂災害や洪水で避難指示が出されたという想定で行われ、吾郷地域連合自治会や港自治会など、町内5地区で延べ534人が参加。

消防団による避難誘導や避難経路の安全確認建設業協会による被災地ハトロールが行われ警戒態勢の確認が行われました。各会場では、土砂災害から身を守るための防災学習会があり、地域住民による組織的な防災活動の重要性などを学びました。



▲誰にでもわかる地域防災をテーマに、地図を利用した防災マップづくり(潮曲利連合自治会)



▲島根県の河川砂防担当者から土砂災害についての研修(滝原自治会)



▲国土交通省職員から江の川の堤防が決壊した場合の想定浸水範囲について研修(都賀本郷連合自治会)



「発見」と「気づき」で 地域の防災力を高める

住民自らの参加による 防災マップづくり

話し合いながら災害発生時の避難場所や避難経路などを地図上に書き込む作業をとおし、防災意識を深める「防災ワークショップ」が近年盛んに行われています。

都賀・長藤地区でも、単位自治会や連合自治会単位での「防災マップ作成ワークショップ」が開催され、平成21年度は都賀西連合自治会、22年度は魚切谷、大浦、原の各自治会、上野連合自治会、23年度は響谷自治会で行われました。

4月25日(月)に響谷集会所で行われたワークショップには、地元自治会員14人が参加。

航空写真を見ながら、大雨時の危険箇所や過去の崩落や浸水箇所、実際に避難する場合の道順や要援護者の対応を話し合いました。

参加者は、町の集落支援員の谷川憲彦さんと三上修治さんから助言を受けながら、意見を次々と付せん紙に記入したり、避難所や要援護者などで色別に分けたシールを航空写真に貼り付けました。

作業には、同地域を担当する集落支援員の中原信登さんも加わり、気付いたことを発表し合って情報を共有しました。

谷川憲彦さん(上野集落支援員)は「実際に住んでいる人が意見を出しながら進めることが大切。皆で集まって話し合ったり考える作業が、地域全体の防災につながる」と話していました。

防災ワークショップについては集落支援員だより(12ページ)と併せてご覧ください。



①



②



③

①「思いつくことをどんどん書いてくださいー自分の命を守るためですー」参加者からの意見を引き出していく集落支援員の谷川憲彦さんと三上修治さん中原信登さん ②「ここは昭和47年の水害時に浸かった場所よー過去の危険箇所もみんな確認」 ③ワークショップでは航空写真とマジックペン、付せん紙、色の違うシールを用意。

ワークショップの流れ

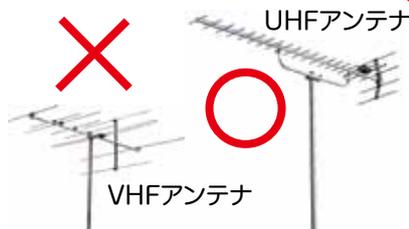
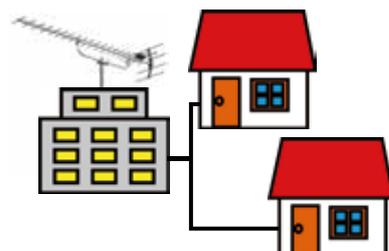
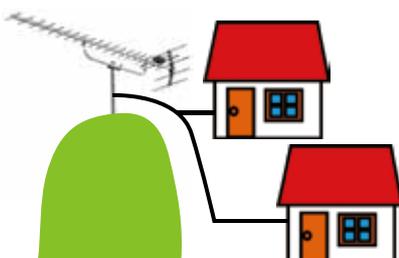
- 第1段階…避難場所や避難場所への道順
- 第2段階…過去に危なかった場所、避難時に役立つ物
- 第3段階…要援護者の位置、誰が避難に付き添うか
- 第4段階…気づいたことをメモに貼り、全員で情報を共有

地上デジタル放送

デジタル放送を見るには？（その2）

受信方法を確認しましょう

- ①UHFアンテナによる直接受信 ②共聴組合による共同受信 ③「みさと光ネット」地デジ再送信に加入



地上デジタル放送を見るには、
UHFアンテナが必要です

みさと光ネット 地デジ再送信についてのお問い合わせ
役場企画課 情報基盤整備室 電話 75-1636

地デジに関するお問い合わせ
デジサポ島根 0852-35-5411

デジサポ島根では、地デジ臨時相談コーナーを美郷町役場1階ロビーに
設置します。（地デジお問い合わせ専用電話機を用意します）

開設期間 6月27日（月）～8月26日（金）土日祝日除く 9:00～16:00

もっと知りたい みさと光ネット

みさと光ネットの最新状況をお知らせします



IP告知端末とホームゲートウェイを重ねて置くと、熱がこもり機器が故障することがあります。ご注意ください。

みさと光ネットの機器設置時に、設置業者が重ねて置いた事例が判明しました。該当するお客様にはあらかじめ電話連絡をさせていただいた上で訪問し、設置方法を変更させていただきます。（訪問する業者は、身分証明証を携帯しています）

問い合わせ先 役場企画課 情報基盤整備室 75-1636

準備はお済みですか？

7月24日(日)に
地上アナログ放送
は終了します

テレビの地上アナログ放送は、7月24日(日)正午に全ての放送が終了します。

現在、アナログ放送をご覧の方は、地上デジタル放送を視聴するための準備をお急ぎください。

アナログ放送が終了すると

アナログ放送をご覧の方は、テレビ画面がこうなります

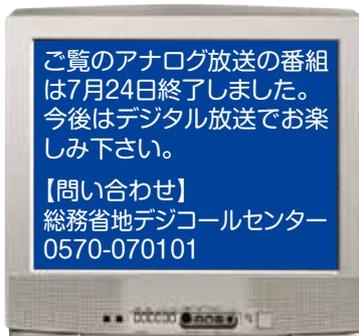
7月1日(金)以降

7月24日(日)正午

7月25日(月)0時以降



終了までの残り日数が画面に表示



放送終了のお知らせ画面に変わります



何も映らなくなります

デジタル放送を見るには？(その1)

デジタル受信機器を用意しましょう



デジタルチューナー内蔵テレビ

2011年 アナログテレビ放送終了



+

デジタルチューナーなど



デジタルチューナー



デジタルチューナー内蔵録画機

従来のアナログテレビでも、デジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵録画機を取り付ければ視聴可能です。ただし、お使いの受信機によって画質などは異なります。



このコーナーでは、町内で行われた様々なできごとをご紹介します！

高齢者の交通事故防止に地域をあげて取り組む「はつらつ運転モデル地区」に指定された君谷地域で、住民を対象にした安全運転講習会が開催されました。

5月17日（火）に、君の谷農村塾（京覧原）で開かれた講習会には老人会や婦人会員など20人が参加。川本警察署交通課の警察官から、高齢者の交通事故について説明を聞いた後、島根県警が導入した交通安全教習車「ご長寿交通安全号」に搭載された機器を使い、運転能力診断を受けま



▲川本警察署長からモデル地区の指定証を受け取る君谷地域連合自治会の安田玲子副会長（4月22日）

地域ぐるみで高齢者の交通事故を防ぐ

した。参加者は、「もぐらたたき」の感覚で光ったボタンを押して判断力や記憶力を試したり、運転時の視野を測定する機械を通じて、安全運転のための注意点や改善点を把握しました。

大田市や川本町まで運転して出かけるという渡邊八千恵さん（京覧原）は、「自分が思う以上に反射力が落ちていくのを実感した。車は生活必需品なので、今後も安全に気をつけて長く乗りたい」と話していました。

～君谷が川本署の「モデル地区」に



▲光ったボタンを押す速さで反射能力や記憶力を診断



▲満開のしゃくなげが並ぶ園内で思い思いに花を楽しむ来場者の皆さん

沢谷地域九日市にあるしゃくなげパークで、5月1日（日）「花の谷しゃくなげまつり」が開かれ、町内外から訪れた150人がピンクや白の大輪が咲き誇る園内で多彩な催しを楽しみました。

しゃくなげは町花に制定され、美郷町のイメージソング「美しき郷」でも歌詞の一部に登場。パーク周辺の山にはしゃくなげ自生地もあり、昔から「花の谷」と呼ばれていました。パークは、約15年前に地元の人たちが休耕田を手作業で整備。植栽した約350株を地元自治会やしゃくなげ保存会が維持管理してきました。

満開のしゃくなげを満喫、桜の巨木ツアーも ～花の谷しゃくなげ祭り



▲沢谷地域連合自治会が現地までの山道を整備。巨木の姿を身近に感じられるようになりました。



した。

祭りは、パークを活かして賑わいと呼び込もうと同保存会と沢谷地域連合自治会が昨年からの開催。上演予定だった神楽は前日の悪天候から中止になりましたが、来場者はパーク内で満開のしゃくなげを楽しんだほか、バザーで振る舞われたイノシシ肉入りの山賊鍋などを味わいました。

また、公園から約300メートル離れた山中に自生する樹齢約500年（推定）の桜の巨木見学ツアーもあり、急斜面を登り切って突如現れる巨木に歓声をあげていました。

三瓶山ろくや石見銀山など、新緑あふれる石見路を自転車で疾走するサイクリングイベント「石見グランフォンド」(NPO法人サイクリストビュー主催)が5月8日(日)に開かれました。

試走会を含め7回目を迎えた今年は、山陰両県をはじめ関東や九州、山陽方面などから過去最高の約550人が出場。選手たちは大田市の久手海水浴場を発着点に、江津市、浜田市、邑智郡内など巡る最長200キロのコースに挑戦しました。美郷町内も、国道375号や川本波多線が通過コースになり色鮮やかなウ



▶出発から約140km走り続けてきた選手

新緑の石見路、選手が疾走！ 美郷町もコースに ～石見グランフォンド

エアに身を包んだ選手たちが初夏の風を感じながら走り抜けました。

途中、「道の駅グリーンロード大和」と「美郷町役場前」に設けられた水分補給所では選手たちが過酷なコースで疲れた体を休めていました。また、コースの沿道では田植えの手を休めて選手を応援する人なども多く見られました。選手たちは鮮やかな新緑と住民の温かい応援を背に更に続く過酷なコースに向けてペダルを漕ぎ進めていました。



▲通過証明のスタンプを押してもらい、一安心の選手たち



▲顔以外の特徴でアナグマとハクビシンの見分け方を教えてもらう子どもたち

田畑の農作物を荒らすサルやイノシシ、アライグマなど有害鳥獣の生態を学ぶ出前授業が5月13日(金) 邑智小学校で開かれ、2年生30人が身近な動物たちの生態映像をとおして理解を深めました。

出前授業は、食育と農業を結びつけた「食農教育」に取り組む同小2年生と、獣害に強い畑づくりを模索する「滝原すずめ会」(岸壽夫代表)が町とともに企画。近畿中国四国農業研究センター(大田市)の研究員が講師をつとめ、水中を上手に泳ぐイノシシや、土の中でモグラが

「アナグマとハクビシ、見分けられるよ！」 ～邑智小2年生 獣害対策出前授業

天井の強度を確認しながら穴を掘る様子、人間と競走するアナグマなどの貴重な映像を紹介しました。また、ヌートリアやイタチの大好物が甘いスナック菓子であることに触れ、投げ捨てた菓子袋が、知らぬ間に野生動物の餌付けに繋がっている実態を指摘しました。子どもたちは、アナグマとハクビシンの見分け方も学び、「早速、家族に教えた」と喜んでいました。5月20日(金)には実践編としてサツマイモの苗を植え、イノシシに掘り返されないよう苗に竹をかぶせる栽培法も学びました。

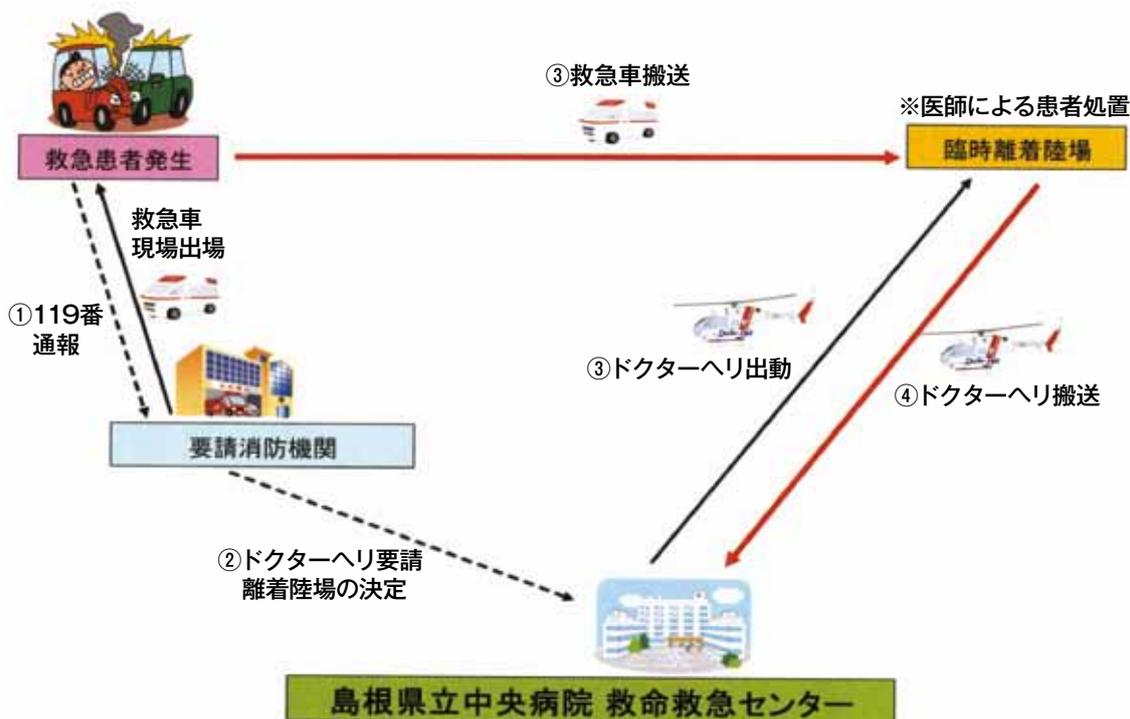


▲滝原すずめ会の獣害対策実践ほ場「青空サロン2号店」(滝原)でのサツマイモの苗植え(5月20日)

お知らせ

ドクターヘリの運航が始まりました

島根県では、救命率向上や後遺症軽減を図り、安全安心な暮らしの実現に向けドクターヘリの運航を始めました。ドクターヘリとは、救急医療用機器を装備し、医師や看護師が同乗して救急現場に向かい、現場で救命医療を施す医療専用ヘリコプターです。島根県のドクターヘリは県立中央病院(出雲市)に常駐し、地域の消防機関の要請から5分程度で出動します。医師による素早い治療開始が期待できるほか、短時間で医療機関に患者搬送が可能です。



- ・ 運航時間は、原則的として午前8時30分から午後5時まで。
- ・ 悪天候時などは運航不能になる場合があります。
- ・ 住民が直接ドクターヘリの運航を要請できません。消防機関からの要請を受け出動します。

▶ 問い合わせ先 島根県健康福祉部医療政策課 (☎ 0852-22-5076)

お知らせ

ご注意ください! 大和診療所の休診日

大和診療所では医師の出張に伴い、土・日・祝日以外で、下表のとおり休診します。

6月	28日(火) 午後	10月	25日(火) 午後	1月	17日(火) 午後
7月	12日(火) 午後	11月	8日(火) 午後		31日(火) 午後
	26日(火) 午後		22日(火) 午後	2月	28日(火) 午後
8月	9日(火) 午後	12月	6日(火) 午後	3月	13日(火) 午後
	23日(火) 午後		20日(火) 午後		27日(火) 午後
9月	13日(火) 午後				
	27日(火) 午後				

▶ 問い合わせ先 大和診療所 (☎ 82-2216)

お知らせ
**「高齢受給者証」、
 「減額認定証」等の
 更新時期です**

「高齢受給者証」、「減額認定証」等をお持ちの方は更新時期です。有効期限は7月31日(日)です。今すぐ、お手持ちの証を確認しましょう。

○国民健康保険高齢受給者証をお持ちの方

国民健康保険に加入している70歳以上75歳未満の方(後期高齢者医療対象者を除く)がお持ちの高齢受給者証は、有効期限が7月31日(日)までです。新しい受給者証は8月までに郵送しますので、ご確認ください。

○限度額認定証・標準負担額減額認定証をお持ちの方

国民健康保険にご加入の方で「限度額適用認定証」、国民健康保険または後期高齢者医療保険にご加入の方で「限度額適用・標準負担額減額認定証」をお持ちの方は、有効期限は7月31日(日)までです。

すでに認定されている方は、7月中に更新のご案内をお送りします。8月1日(月)から再度認定を受ける方は更新の手続きをしてください。新規に減額認定証等が必要な方も手続きしてください。

▼持参するもの

印鑑、現在お持ちの高齢受給者証、減額認定証

▼問い合わせ先
 役場健康推進課 (☎75・1932)

お知らせ
**「後期高齢者
 医療被保険者証」を
 7月中にお届けします**

75歳以上の方(65歳以上で後期高齢者医療広域連合が障がい認定した方を含む)が、現在お使いの被保険者証(うぐいす色)は、7月31日(日)までお使いいただけます。

8月1日(月)からお使いいただく被保険者証(オレンジ色)は、7月中に簡易書留で郵送します。

※平成22年中の所得状況により、医療機関での自己負担割合が8月から変更されることがあります。被保険者証に記載されている自己負担割合(「一割」または「三割」)をご確認ください。

また、平成22年中の所得額の確定に伴い、7月中旬に平成23年度保険料額に関する通知をお送りしますので併せてご確認ください。

▼問い合わせ先

役場健康推進課 (☎75・1932)

お知らせ
**美郷町簡易水道の
 水質検査結果**

検査実施(5月25日)	結果	評価	対応
粕淵・浜原簡易水道	基準値超過及び異常なし	適合	—
吾郷地区簡易水道	基準値超過及び異常なし	適合	—
別府地区簡易水道	基準値超過及び異常なし	適合	—
君谷地区簡易水道	基準値超過及び異常なし	適合	—
酒谷地区簡易水道	基準値超過及び異常なし	適合	—
石原地区簡易水道	基準値超過及び異常なし	適合	—
潮地区簡易水道	基準値超過及び異常なし	適合	—
都賀行簡易水道	基準値超過及び異常なし	適合	—
比之宮地区簡易水道	基準値超過及び異常なし	適合	—
都賀簡易水道	基準値超過及び異常なし	適合	—

※なお、検査結果の詳細は、ホームページで公表しています。



人事

地域おこし協力隊

美郷町では、地域おこし協力隊として、次の7人を採用しました。よろしくお願ひします。

第4期地域おこし協力隊(沢谷地域)

5月1日付



ひろせ あやか
広瀬 綾香

(東京都新宿区)

6月1日付



おだいま まさひろ
小田島 正博

(埼玉県秩父郡)

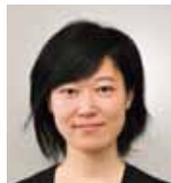
第4期地域おこし協力隊(吾郷地域)

6月1日付



パノフ グリゴリー

(鳥取市)



パノヴァ 由起子

(鳥取市)

第4期地域おこし協力隊(君谷地域)

4月20日付



ふくしま たけし
福島 豪

(千葉県柏市)

5月1日付



はった よしひろ
八田 佳大

(千葉県佐倉市)

6月1日付



あだち はるか
安達 はるか

(広島市)

美郷町内で活躍する地域おこし協力隊員は、6月1日現在17人になりました。

▼問い合わせ先

役場企画課 (☎75・1924)

「末永く、愛される存在に」

沢谷交流センター隣に協力隊事務所

沢谷地域の地域おこし協力隊員の活動拠点になる事務所がこのほど沢谷交流センター隣に完成しました。5月19日(木)には、自治会関係者などが事務所に真新しい看板を掲げて、協力隊員の活躍を願うとともに、地域全体で隊員活動を支えようと決意を新たにしました。

協力隊の事務所は、沢谷地域連合自治会が建設費を負担して設置。プレハブ平屋建てで約200㎡あり、事務室部分のほか、刈り払い機などを保管する倉庫も併設されています。

同連合自治会の福岡秀武会長は、「末永く、地域から愛される存在になってほしい」と隊員たちを激励するとともに、「地域に新しい風を吹き込んでほしい」と期待を込めました。



お知らせ

農業委員会委員
一般選挙日程

任期満了に伴い、農業委員会委員の選挙を行います。

- ・告示日 7月5日(火)
- ・投票日 7月10日(日)
- ・定数 10人

▼問い合わせ先

選挙管理委員会
(☎75・1213)

お知らせ

知識が人生を変えていく
放送大学10月生募集

放送大学では、平成23年度第2学期(10月入学)の学生を募集中です。放送大学はテレビ等の放送を利用して授業を行う正規の通信制大学。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。

大きく育て！おおち保育園児が
江の川に稚鮎放流

粕洲地内の江の川で、5月17日(火)おおち保育園の年長組園児24人が鮎の稚魚7000匹を放流し、成長を願いました。稚鮎の放流は、付近の江の川で護岸工事を行っている大社建設株式会社が地域貢献活動として企画。この日、尻無川合流点の河川敷に集まった園児たちは、1人ずつバケツに体長6～8センチの稚アユを入れてもらい、「早く大きくなあれ」と声をかけながら川に放ちました。



○15歳以上の方なら、1科目から学習する選科履修生・科目履修生として入学できます。

○18歳以上の大学入学資格をお持ちの方なら、無試験で全科履修生として入学でき、4年以上在学して、124単位を修得し卒業すると、学士(教養)の学位を取得できます。

・出願〆切

平成23年8月31日必着。

オープンキャンパス(浜田会場)

・日時：7月3日(日) 10時～
・場所：いわみーる(浜田市)

▼問い合わせ先

島根学習センター
(☎0852・28・5500)

お知らせ

最低賃金引上げに
向けた中小企業支
援事業のご案内
～中小企業の皆様の
最低賃金引上げに向けた
取組を支援します！～

●中小企業相談支援事業

経営面、労働面の相談等をそれぞれの専門家がワンストップ&無料で対応します。

▼問い合わせ先

最低賃金総合相談支援センター
(社団法人島根県経営者協会内)
(☎080・6342・7137)

●中小企業最低賃金引上げ支援対策

補助金(業務改善助成金)
事業場内で最も低い時間給(時間換算額)を、計画的に800円以上に引き上げる中小企業に対して、就業規則の作成、労働能率の増進に資する設備等の導入、研修等の実施にかかる経費の1/2を助成します。

▼問い合わせ先

島根労働局労働基準部貸金室
(☎0852・31・1158)

リレー記事 【集落支援員だより】 えがおの明日へ

～元気な美郷になるための取り組み～

連載第5回 上野地域

美郷町では、地域の課題解決や活性化のために、地域ごとに配置された集落支援員が活動しています。

活動内容は地域によって様々。連合自治会をはじめ地域の皆さんと力を合わせて取り組んでいます。

このシリーズでは、集落支援員が日々の活動で感じたことやその思いなどを、連載で紹介していきます。

.....

上野地域集落支援員 谷川 憲彦

私は、平成21年7月から今年3月まで都賀・長藤地区の4連合自治会を、三上集落支援員と2人で担当していました（現在私は、上野連合自治会担当です）。

この集落支援員の活動として取り組んでいる防災ワークショップについて紹介します。



ただき、上野連合自治会、長藤の魚切谷、大浦、原、饗谷の各自治会で行いました。

取り組むきっかけは、昨年に担当地区全域を対象に行った集落点検・ヒアリングでした。

この集落点検では、地域のさまざまなか声、課題等を認識することとなり、これらをまとめ、連合自治会の場で報告をし、意見交換をしました。

中山間地域研究センター等での研修、情報もヒントに、「まずできることから、住民の方と一緒にできる、具体的な取り組みは何か」、地域の方と相談してやっていくことと考えたのが防災ワークショップでした。

ワークショップといっても難しいものではなく、住民の皆さんが集まり、グループに分かれて地域の航空写真をしながら、危険個所や避難路・場所、

このワークショップは、都賀・長藤地区を対象に、4連合自治会、島根県中山間地域研究センター（飯南町）、都賀行交流センター（当時）の協力、支援をい

たき、上野連合自治会、長藤の魚切谷、大浦、原、饗谷の各自治会で行いました。

注意すべき所や役立つモノ、お住まいの方の状況などを話し合っています。

これらの話を「付せん紙」にして地図に貼り、災害時の対応、独居高齢の方・支援が必要な方の対応（誰がするか）などを考えながら、防災マップができあがっていきます（大変盛り上がりです！地図は、地域の状況がタイムリーに把握でき、空き屋・廃屋対策等での活用も可能です）。

さらに、具体的に要援護者の避難を想定したシミュレーションを行い、最後は気づいたこと、全体を通じての問題、考えをまとめ、発表をされます。

この話し合い作業で、それぞれの地域が経験したこれまでの災害の記憶が蘇るとともに、地域で協力しながらふるさとを守ってこられた苦労がよくわかります。

4月に饗谷自治会で行った際は、初めて私と三上支援員の2人でワークショップを行いました。

この4月から長藤連合自治会を担当する中原支援員に協力いただき、災害の記憶を振り返りながら、危険個所、どのように避難し対応したか、避難時の役立つ地域の放送設備に気づくなど、積極的・活発な話し合いとなり、時間が足りなくなるほどでした。

こうしたワークショップでは作業を通して、詳細・具体的な地域の現状、課題を掘り下げ、情報を共有すること



なります。そして、住民の皆さんや地域の連携、連帯を深めていけるものだと考えています。

こうした積み重ねが、将来に向かって、地域を守り、地域の力となっていくのではないかと、取り組んでいるところです。

【意見をお寄せください】

集落、自治会に関連する施策に対するご意見などをお寄せください。

担当課 総務課行政改革室

(☎75・1211)

連載

「これならできる！」

獣害対策「第7回



朝夕の冷え込みもゆるみ、気温もべつと高くなって来ました。連休に作付けた野菜苗は毎日ぐんぐん育ちはじめ、早起きして畑に行くのが最も楽しみな季節の到来です。

しかし、野菜の生育とともに心配も大きくなるのが獣害です。今回は、誘引、施肥といった、一見獣害とは関係なさそうに見える毎日の農作業での獣害への配慮が実はとても大切…というお話です。

「マゲなナス」はサルにも強い

生育の悪いナスは、果実の肥大も遅く、花が咲いてから収穫までに日数がかかります。

そんなナスは果皮や果こう（へたから茎までの部分）も使いたため、

サルが侵入して強く果実を引っ張ると茎が裂けたり根っこから抜けてしまうこともあります。一方、肥培管理をしっかり行つて「マゲなナス」にしておくと、大の大人が引っ張つてもそう簡単には抜けません。「マゲなナス」に仕立てるコツは追肥のタイミングと主枝の誘引です。

ナスの花をよく見てください。花弁の真ん中に黄色いおしべに囲まれてめしべがありますね。このめしべがおしべより長く伸びているなら、あなたのナスは肥料が効いている証拠。もし、めしべの背が低くて頭がおしべと同じ長さ以下なら、それは追肥が必要という信号。畝肩に手鋤の柄か何かで穴をあけ、野菜用の肥料を一掴み入れてあげてください。

誘引は、一番果（最初になった果実）の上、下あたりから伸びた丈夫な枝3〜4本を主枝と決めて、斜め外側に上が開くようにヒモや支柱で固定して行います。この主旨に次々と側枝を出させ、収穫時に側枝の葉を一枚残して切り戻します。こうして育てた「マゲ

なナス」ならば、例えサルが侵入して果実を食われても、明日から何もなかったかのように果実をならせ続けてくれるはずですよ。

畑からツルをはみ出させないカボチャの立体栽培

家庭菜園でもカボチャは結構人気があつて、いくつかの品種を作付ける人も多いようです。しかし、カボチャは野生動物たちの大好物。生育が旺盛なため、畑の外にツルがはみ出したりしていると多くの動物を引きつけ、効果的な柵の設置も困難になります。

そこでおすすめしたいのが立体栽培。キュウリと同じように中が歩けるくらいの高さのトンネル型の支柱を組み、10〜20センチ目合いの漁網がフラワーネットを張ります。

生育が進んでツルが伸びたカボチャでも間にあいますから一度試してみてください。ツルを出来るだけ上へ上へと誘引し、支柱の天井部に届いたら向こう側に垂らし構いません。

空中で成らせたカボチャはウリ

ハムシなど害虫退治も簡単な上にお尻の部分も太陽があたつて綺麗に仕上がります。



ぜひ、青空サロン（乙原）を見学してください

前回紹介したサツマイモの竹マルチ栽培やマゲなナスの栽培法、カボチャの立体栽培、鳥獣からも守りやすそうな上に何だか楽しそうでしょう。白間は一見にしかず！乙原の青空サロンでは栽培方法が見学できます。お気軽に見学にお越しください（水曜日の朝なら、吾郷地域婦人会のみなさんからの詳しい説明も聞けますよ）

中国四国農業研究センター

鳥獣害研究チーム専門員

井上 雅央

獣害対策についてのご相談、この連載に対するご意見・ご感想は産業振興課（☎75・1214）までお寄せください。

地域を変える新しいチカラ

地域おこし協力隊通信 第9回 沢谷地域 地域おこし協力隊



はじめまして。この4月から、沢谷地域の協力隊として着任し、皆様とともに沢谷地域で暮らし、活動させていただくことになりました。出身は埼玉県川越市、24歳。小・中・高校と野球をしてきました。

今まで農業などの経験はありませんので、こちらでの生活は未体験な部分が多々ありますが、どれも新鮮で楽しく貴重な経験をさせていただいています。

こちらに来てから、沢谷では大きなイベント2つあり、そのお手伝い、参加させていただきました。一つは「沢谷夜桜街道」。ライトアップや夜桜茶屋の準備をし、初めて神楽を見させていただきました。

初神楽はとても迫力があり、会場全体が盛り上がり、大変圧倒されました。

もうひとつは「花の谷しゃくなげまつり」。桜の巨木を見に行くための橋の丸太架けの手伝いや歩道整理をしました。私は、これまでしゃくなげを見たことがありませんでした。そして、自然の山を通って見る桜の巨木は解放感も味わえ、感動的でした。

これらの他にも、草刈、田植えなど少しずつですが、経験させていただいております。

まだまだ未熟ですがより多くの人と関わり、さまざまな経験をし、学んでいくながら、沢谷の地域を活性化できるようにお手伝いさせていただき、美郷町全体に携われるように頑張っていきます。よろしくお願いいたします。



第4期（沢谷）地域おこし協力隊
ひじかた ゆうた
土方 雄太



清流句会

選者 服部 康人 先生

- | | |
|-----------------|--------|
| 落の葉の影をやどせる土壁かな | 藤田 優美 |
| 吾が庭の王者なりけり白牡丹 | 波多野 静香 |
| 葉桜や椅子とテーブルその下に | 田辺 和枝 |
| 艶やかな匂ひを風にラベンダー | 山本 寛子 |
| 見馴染みし向ひの山の朴の花 | 松島 肇 |
| 母の日や我が好みをよく知る子 | 武田千代子 |
| 鯉職親の願ひを高々と | 坂本 光枝 |
| 病む足にそぐふ靴履き初夏の旅 | 熊谷 久子 |
| 気楽なる世間話や柏餅 | 多久千恵子 |
| 助け合う心大切ラベンダー | 吉川 律子 |
| それぞれに予定ある子や子供の日 | 向井 榮子 |

選者吟
阿蘇五岳寝釈迦に見たて夏霞



がん検診を受けましょう～胃がん編～

日本人に
最も多いがん

日本人の約2人に1人ががんになり、約3人に1人ががんで命を落としています。また、日本人が発症するがんの中で、男女合わせて最も多いがんは、「胃がん」です。美郷町でも、がんによる死者のうち、胃がんで亡くなる方の割合が多くなっています。(男性2位、女性3位「2005年」)

胃がんは、胃の粘膜の細胞ががん化することにより発生します。早期の胃がんの特徴は、ほとんど症状が現れず、まれに胃痛・胸焼け・黒い便がみられることがあります。がんは、早期に発見・治療すれば、完治の可能性は高まります。1年に1回は、がん検診を受けましょう!!



受診者数の推移 (集団検診分)

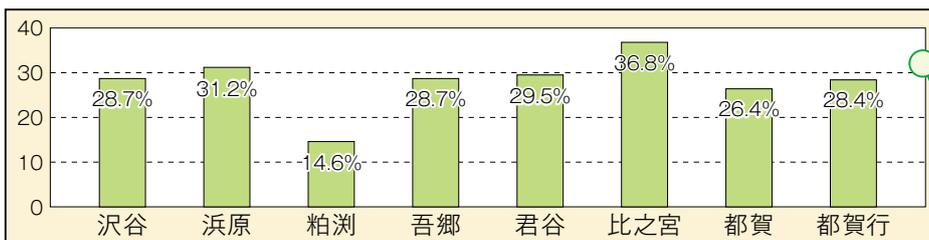
年度	受診者			要精検者				精検結果	
	対象者数	受診者	受診率 (%)	要精検者	精検率 (%)	受診者	受診率 (%)	異常なし	異常あり※
18年	2,631	621	23.6	61	9.8	46	75.4	5	41
19年	2,621	575	22.0	36	6.3	22	61.1	2	20
20年	2,384	557	23.3	53	9.5	38	71.7	0	38
21年	2,346	554	23.6	47	8.5	35	74.5	1	34
22年	2,093	546	26.1	57	10.4	40	70.2	4	36

(※) 異常ありの内訳…潰瘍、ポリープ、がん等

22年度の検診受診率は少し増加しましたが、まだ3割に達していません。また、精密検査が必要な方の3割は未受診です。早期発見・治療により健康寿命の延伸につながります。胃がんは初期症状の無いことが多いですが、必ず精密検査を受けましょう!



地区別受診率 (平成22年度 対象：30歳以上)



地域によって受診率に差が現れています。あなたの地域はどれですか？

平成23年度の胃がん検診を受けましょう

対象	30歳以上
方法	集団検診 ※平成23年度美郷町健康カレンダー参照
内容	バリウム(造影剤)によるレントゲン検査
料金	1,000円(国保加入者：500円、後期高齢者・生活保護受給者：無料)

次の方は検査対象になりません
・ひどい便秘症
・腸閉塞や過敏症などになったことがある人

※午前の検診の場合、前日午後9時以降は飲食や喫煙は禁止です！午後の検診の場合は、朝食は消化の良いものを軽く食べて空腹時間が最低6時間以上空くようにしてください。ただし、お茶や水は受診2時間前まで少量なら飲んでも構いません。

胃がんは早期発見・治療が重要!! 1年に1回は必ず検診を受けましょう!!

問い合わせ先 役場健康推進課 (☎ 75-1932)

7月の行事予定

- 1日 (金) 基本健診・胃がん検診 (比之宮交流センター)
- 2日 (土) 銀山街道飛脚プロジェクト (粕刈～酒谷)
- 3日 (日) 石見銀山街道整備作業 (やなしお道ほか)
- 4日 (月) 健診結果報告会 (吾郷地域)
- 5日 (火) 農業委員会一般選挙告示
交通事故巡回相談 (大田市役所)
- 6日 (水) 中国補聴器相談会 (山村開発センター)
検診結果報告会 (沢谷地域)
- 7日 (木) 胃がん検診 (別府公民館、君の谷農村塾)
- 8日 (金) 胃がん検診 (邑智園)
- 9日 (土)
- 10日 (日) 農業委員会一般選挙投票日 (予定)
広島美郷会総会 (広島市内)
- 11日 (月)
- 12日 (火) 胃がん検診 (浜原中町集会所、滝原青杉森林センター)
大和診療所午後休診
- 13日 (水) 胃がん検診 (築瀬集会所、吾郷集会所)
- 14日 (木) 胃がん検診 (沢谷交流センター、上川戸集会所)
- 15日 (金) 行政相談 (まほろば福祉センター)
すくすく相談 (子育て支援センター)
- 16日 (土)
- 17日 (日)
- 18日 (月) 海の日
- 19日 (火)
- 20日 (水) 町内小中学校終業式
広報みさと7月号発行・自治会長配布
- 21日 (木) 基本健診・胃がん検診 (山村開発センター)
夏の交通事故防止運動 (8月20日まで)
- 22日 (金) 基本健診・胃がん検診 (山村開発センター)
- 23日 (土) 美郷夏祭り花火大会 (粕刈江の川河川敷)
- 24日 (日) アナログ放送終了、地デジ完全移行
- 25日 (月) 健診結果報告会 (浜原地域)
- 26日 (火) 大和診療所 午後：休診
- 27日 (水) 健診結果報告会 (君谷、別府地域)
西日本補聴器相談会 (山村開発センター、まほろば福祉センター)
- 28日 (木) 3歳児、5歳児健診 (保健福祉センター)
- 29日 (金)
- 30日 (土)
- 31日 (日)

慶 弔 (5月分届出・敬称略)

※慶弔欄は、掲載を希望された方のみ掲載しています。町外で届けられた方で
名前の掲載を希望される方は、企画課 (75-1924) までご連絡ください。

愛のともしび (5月受付分)

社会福祉協議会へ次の方々よりご寄付を頂きました。(敬称略)

人口と世帯

人口 5,544 人

男 2,604 人 (－5人)
女 2,940 人 (－7人)
世帯数 2,452 世帯 (－2世帯)

() は先月との比較 (住民基本台帳による6月1日現在)